

令和3年度における経営協議会学外委員からの 意見を踏まえた法人運営の改善について

○ 令和3年11月26日 第5回経営協議会

「ソーシャル・データサイエンス学部・研究科〈仮称〉の設置準備について」
に係る報告時における意見

一橋大学の場合、既存の教授から質の高い教育が提供できるというアドバンテージがあり、これが一橋大学が新学部を新設することの意義である。外部から教員を採用することももちろんだが、一橋大学のリソースを有効に活用してほしい。

〈対応〉

新学部のカリキュラムでは、既存学部である商学部、経済学部、法学部、社会学部が開講する社会科学の専門的な講義を履修することを通じて、社会科学の幅広い知識を習得させることとしている。既存学部と同様、2学部以上の他学部教育科目を6単位以上修得することを卒業要件の一つとする方向で設置準備を進めている。

新学部・研究科の設置そのものについては、令和5年4月からの開設に向け、令和4年3月に文部科学省宛てに設置計画書を提出し、現在審査中である。

なお、社会科学を基盤とするデータサイエンス領域における教育研究の推進及び本学に新設学部等を設置する業務を行うことを目的とするソーシャル・データサイエンス教育研究推進センターにおいては、当初からの計画に沿って令和4年4月に新規に専任教員を8名採用し配置するとともに、他部局の専任教員3名についても当該センターに配置換を行い、体制の強化を図っている。また、当該センターにおいては、今後外国人教員を積極的に採用する予定としている。

○ 令和3年7月28日 第3回経営協議会

「令和4年度概算要求について」に係る審議時における意見

fMRI 導入について、他大学や民間企業においても共同利用・共同研究における活用度が高そうだと考えられる。このプロジェクトを応援したい。

〈対応〉

本学の既存の研究と最新の脳科学研究の知見が連結することにより、デジタル人材の育成及び他大学や民間企業との共同利用・共同研究が期待できるfMRI 導入について、文部科学省に対して概算要求を行い、整備費用が予算措置された。現在、導入・設置及び学内運用体制について引き続き必要な検討を進めている。

○ 令和3年4月23日 第1回経営協議会

「第4期中期目標・中期計画の策定について」に係る報告時における意見

寄附金収入増加のための具体的な取組として「150周年事業」を盛り込んではどうか。

〈対応〉

多様な財源を通じた収入の増加等を通じて財務基盤を安定させる旨の中期計画案の中に「2025年に創立150周年を迎える機会も生かして」という文言の追記を行い、創立150周年を迎える機会も生かし、一橋大学基金を中心とした寄附金収入の増加等を通じて財務基盤を安定させる旨の記述とした。